

令和3年度 第3回（第6期第2回）新宿区産業振興会議 議事要旨

【日 時】 令和4年3月30日（水）午後4時～6時

【場 所】 BIZ新宿（区立産業会館） 研修室A

【出席者】 委員：植田、遠山、長山、笠井、則竹、江曾、大神田、豊岡、伊藤、富田、横倉、松尾、各委員
事務局：小泉文化観光産業部長、村上産業振興課長、市田大久保出張所所長、出沼産業振興係長、
高井産業振興主査、吉田産業振興主査、山本主任、国分主事

【欠席者】 友成委員

【傍聴者】 なし

【配布資料】 省略

【内 容】

1 開会

2 議事

(1) 前回会議の振り返り

資料1に基づき、事務局より説明した。

(2) 第6期新宿区産業振興会議スケジュールについて

- ・資料2に基づき、事務局より説明した。次回第3回会議で専門部会を設置する。
- ・参考資料1について事務局より説明した。

(3) 第6期第1回新宿区産業振興会議議事要旨のまとめと想定される状況変化について

- ・資料3に基づき、コロナ禍での状況変化確認として活用する新宿区景況【特別調査】のテーマについて、各委員から意見を求めた。
- ・参考資料2について事務局より説明した。

(4) 令和4年度新型コロナウイルス対策事業について

資料4に基づき事務局より説明した。

3 主な発言内容

- ・新宿区景況【特別調査】をとおして、新宿区の産業振興施策に何が必要かを明らかにしていき、第6期報告書としてまとめていく。
- ・新宿区景況【特別調査】でテレワークの実施状況を確認する場合、コミュニケーションの取りづらさから合わない従業員もいるため、どのようなデメリットが発生しているのか、人事の定着につながっているのか、どのような工夫をしているのか等の設問がよい。
- ・「行政支援の活用」をテーマとして追加し、コロナ関連の突発的な支援の手続きの方法等についての行政からの情報発信について課題抽出する。
- ・行政からの情報発信だけではなく、事業者自身が意欲を持つことも必要。
- ・日々に追われる中小企業や個人はどんな補助金を活用しようかに辿り着くこと自体が難しく、資金調達や手続きなどのテーマに沿って定期的にイベントを開催し、周知することで起業者の意識も変わり、起業者が増えることで区内経済も活性化していくのでは。
- ・テレワークの実施状況を確認する場合、どのような工夫をしているかだけではなく、資金面でテレワークの実施に消極的な経営者のリサーチを兼ねてテレワークへの投資について設問するのもよい。
- ・商店街としてはテレワークが来街者減少につながると考える反面、昼間の人口は増えている。